

環境パフォーマンス算定基準

石塚硝子株式会社

1	対象期間	2010/4月～2011/3月(年度会計期間と同じ)					
2	対象組織	当社は、岩倉工場、東京工場、姫路工場、福崎工場の4工場を対象としております(※1)。 関連会社の環境パフォーマンスデータは、日本パリソン(株)、ウイストン(株)、久金属工業(株)を対象としております。 なお、福崎工場は、2010年6月に当社の子会社であったアイピーアイ(株)との合併により、当社の生産拠点として算定範囲に加えております。 (※1) 当社単体のパフォーマンスデータには、岩倉工場、及び東京工場サイト内に所在する日本パリソン(株)のデータは含めておりません。					
3	算定基準	input	エネルギー	総エネルギー	GJ	Σ [各燃料の年間消費量×各燃料の単位発熱量]+[年間電力(買電)量×単位熱量係数]	
				燃料	GJ	発熱量への換算は、“エネルギーの使用の合理化に関する法律”の各燃料種毎の最新の換算係数を使用 但し、都市ガスは供給会社の性状値を使用。	
				電力(買電)	GJ	各電力会社からの年間の購入電力量 発熱量への換算は、“エネルギーの使用の合理化に関する法律”の最新の換算係数を使用。	
				ガラスびん、又は 食器ガラスのエネルギー	GJ	ガラスびん、又は食器ガラス生産工程において、 原料投入～溶解～成型～検査・包装に伴い消費された各エネルギーの年間合計。 (印刷等の後加工工程に伴うエネルギーは除く)	
			原材料	ガラス原料: 主(及び、副)原料	t	ガラスびん・ガラス食器用として使用する主原料(珪砂、石灰石、ソーダ灰)、及び副原料の年間使用量。	
				ガラス原料:カレット	t	カレットは、“ハウスカレット”+“市中カレット”の各年間使用量の合計。 ハウスカレットは、ガラスびん、又はガラス食器の製造過程で副産物として発生する工場内発生カレット。 市中カレットは、市町村で回収された空きびんを、カレット工場でカレット処理したガラスびん用カレット。	
				その他	t	ガラスびん・ガラス食器で使用するガラス原料以外の製品用の原材料と、各種製品を製造する際に主に使用する緒材料 や包装資材などの年間使用量。	
			用水使用量	m ³	上水・工業用水・地下水揚水の各年間使用量。		
			output	生産量	生産量(仕上量)	t	各製品の年間生産量。 ガラス製品は、ガラスびん溶解炉、又はガラス食器溶解炉で熔融～成型され、製品となったガラスびん・ガラス食器製品の 生産量。
					ガラス溶解量	t	投入されたガラス原料が各ガラス溶解炉(びん炉、並びに食器炉)において、溶解された年間のガラス重量。
	カレット使用率	%			カレット総使用量(ハウス+市中)/ガラスびん溶解量×100		
	エネルギー原単位	ガラスびん、 或いはガラス食器		GJ/t	ガラスびんエネルギー/ガラスびん炉の年間溶解量、或いは 食器ガラスエネルギー/食器ガラス炉の年間溶解量		
	廃棄物	副産物発生量		t	廃棄物(事業系一般廃棄物は除く)+有価物の年間合計。工場搬出時の排出量、或いは工場内での有効利用量。 (但し、ハウスカレットとして使用される工場発生カレットは除外しています。)		
		有効利用率		%	有効利用率=有効利用量/副産物発生量×100 有効利用量は、工場内での有効利用、有価物、並びに廃棄物中間処理(中間処理後含む)において有効利用及び減量さ れた量(熱回収される廃棄物含む)		
	化学物質	化学物質 移動・排出量		t	“PRTR法”の規定に基づき届出義務が生じた工場における該当化学物質の排出量と移動量。		
	排水	排水量		m ³	年間排水量		
	CO ₂	CO ₂ 排出量 (総量)		t-CO ₂	エネルギー起源CO ₂ +ガラス原料起源CO ₂ エネルギー起源CO ₂ は、 Σ [各エネルギー(燃料、及び電力)の年間消費量×各エネルギー-CO ₂ 排出係数] ガラス原料起源CO ₂ は、 Σ [ソーダ灰・石灰石などの炭酸物を含む各原料の年間使用重量×各原料CO ₂ 排出係数] CO ₂ 排出係数は、“地球温暖化対策の推進に関する法律”から引用。 なお、電気のCO ₂ 排出係数は、国から公表値された最新の電気事業者別排出係数を使用。		
		ガラスびんCO ₂ 排出量、 及び原単位		kg-CO ₂ /t	ガラスびん生産に係わるエネルギー起源CO ₂ +ガラスびん溶解炉への投入原料起源CO ₂ 原単位は、ガラスびん溶解炉におけるガラス溶解量ベース。		
		食器ガラスCO ₂ 排出量、 及び原単位	kg-CO ₂ /t	食器ガラス生産に係わる消費エネルギー起源CO ₂ +食器ガラス溶解炉への投入原料起源CO ₂ 原単位は、食器ガラス溶解炉におけるガラス溶解量ベース。			
	ばいじん	ばいじん排出量 (総量)	t	各ばいじん発生施設からの年間排出量の合計 各施設の測定時のばいじん濃度(g/m ³ N)×乾き排ガス量(m ³ N/h)×年間稼働時間(h)/1000			
SO _x	SO _x 排出量 (総量)	t	各ばいじん発生施設からの年間排出量(SO ₂ 換算)の合計 Σ [SO _x 濃度(ppm)/1000000×乾き排ガス量(m ³ N/h)×年間稼働時間(h)×64/22.4]				
NO _x	NO _x 排出量 (総量)	t	各ばいじん発生施設からの年間排出量(NO ₂ 換算)の合計 Σ [NO _x 濃度(ppm)/1000000×乾き排ガス量(m ³ N/h)×年間稼働時間(h)×46/22.4]				
	ガラスびん (ばいじん、SO _x 、NO _x) 排出量、及び原単位	kg/t	各ガラスびん溶解炉を起源とする各“ばいじん”、“SO _x ”、“NO _x ”の年間排出量の合計 原単位は、ガラスびん溶解炉におけるガラス溶解量ベース				
	食器ガラス (ばいじん、SO _x 、NO _x) 排出量、及び原単位	kg/t	各食器ガラス溶解炉を起源とする各“ばいじん”、“SO _x ”、“NO _x ”の年間排出量の合計 原単位は、食器ガラス溶解炉におけるガラス溶解量ベース				